



こんなときにはAED!!

●意識がない ●呼吸がない ●脈拍なし（医療従事者のみ）

① ふたを開けると、電源ON！



フタを開けると100回/分の動作音が始まります。

「成人モードです。
意識・呼吸を確認してください。
胸を裸にして、AEDのフタから
四角い袋を取り出してください。
袋を破いて、パッドを取り出してください。
パッドを青いシートからはがして図のように
右胸と左わき腹に貼ってください。」

重要

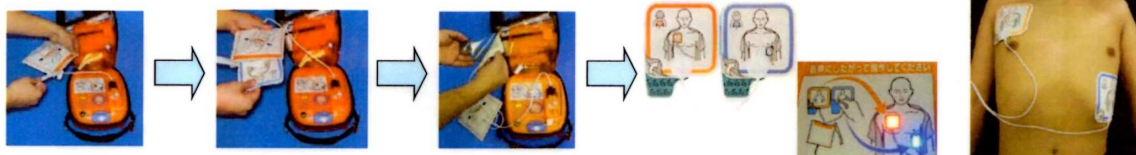
成人を救助する時⇒成人モード

小児（未就学児）を救助する時
⇒小児モード



成人・小児モード
切換スイッチ

② パッドを体に貼ります



パッドを貼ると、自動的に心電図の解析を開始します。AEDの音声ガイドに従ってください。

「体にさわらないでください。心電図を調べています。体にさわらないでください。」

電気ショックが必要な心電図の場合

「電気ショックが必要です。
充電しています。」

電気ショックが不要な心電図の場合

「電気ショックは必要ありません。
体にさわっても大丈夫です。
直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を始めてください。」

③ ショックボタンを押します



「体から離れてください。
点滅ボタンをしっかりと
押してください。」

「電気ショックを行いました。
体に触っても大丈夫です。
直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を
始めてください。」

人工呼吸の訓練を受けており、
技術と意思があれば胸骨圧迫30回と
人工呼吸2回を交互に2分間行います。



普段どおりの呼吸が戻った場合は、身体を横向きにして救急隊員の到着を待ちます。
（電極パッドは貼ったままにしてください。）



NIHON KOHDEN

心肺蘇生 一連の流れ

【新型コロナウイルス感染症拡大に伴う傷病者対応】

1 安全の確認



2 肩をたたいて意識の確認

◆傷病者の顔と救助者の顔があまり近づきすぎないようにする

3 助けを呼ぶ



4 呼吸の確認

胸と腹部の動きを見て、呼吸の確認をします(10秒以内)
※わからない時は胸骨圧迫を開始

◆傷病者の顔と救助者の顔があまり近づきすぎないようにする



◆成人に対しては人工呼吸は実施せずに胸骨圧迫だけ続ける



◆子どもに対しては、技術と意思があれば胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す

5 胸骨圧迫

胸が約5cm沈む程度の強さで、1分間に100回から120回のテンポで押します

◆ハンカチやタオルなどがあれば傷病者の鼻と口にかぶせるマスクや衣類等でも代用可



6 AEDで電気ショック

体から離れてください



救急隊に引き継ぐまで心肺蘇生を続けましょう

◆救急隊に引き継いだあとは、速やかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗う。

傷病者の鼻と口にかぶせたハンカチやタオル等は、直接触れないようにして廃棄するのが望ましい

 NIHON KOHDEN